

保健体育科の実践

◆ テーマ

主体的に学び、獲得した力を発揮することができる体育学習の創造

～「ICT機器を活用し、仲間と高め合える授業を目指して」～

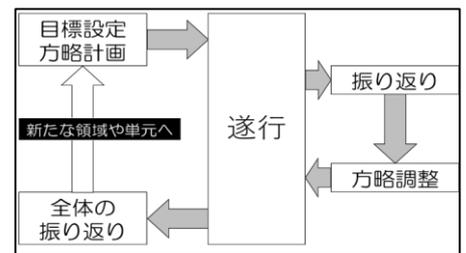
◆ 本校の実践

「主体的な学び」と実現するための手立てについて

授業（単元）のねらいや着目する視点についての設定を生徒に明確に示すことで、生徒は授業の中で何をどのように学ぶのか、何を目標として練習したり取り組んだりするのかをイメージし、主体的に活動に臨むことができた。評価する場面を明確にし、評価指標を作成することで、学習シートや観察での見取りをスムーズに行うことができたことが成果である。しかし、授業中に行う観察での評価の見取りについては、いくつものグループが同時に行われている様子を授業者が一人で見回す状況から、更なる工夫が必要である。主体的に取り組む態度を評価できるような学習カードの工夫と観察の両方を取り入れた評価方法を模索することが求められる。昨年度のスキルアップ講座で実施した長距離走の授業では、周回タイムやラップタイムの計測が簡易化できるようなICT機器の活用（アプリなどを活用し、活動時間を確保）、毎時間の記録（学習カード）の電子化、生徒のエンゲージメントが高められた姿や内面で繰り広げられている学びそのものを把握する手立て（どのように授業の中でその場面を表出させるか）を研究することが課題となった。

「主体的な学び」のプロセスモデル

単元構成や授業づくりに活用し、「主体的に学習に取り組む態度」の評価の枠組みを活かしながら評価規準、評価場面を設定して指導と評価のあり方について研究を進めていく。運動や体育が嫌いであったり苦手であったりしても、自分自身の体力の向上や健康の保持増進を意識でき、「体や心が育まれ、鍛えられ、成長している」ことが実感できるような保健体育の授業を目指したい。



「主体的な学び」のプロセスモデル

◆ 参加者の皆さんと意見交換したいこと

・ 授業におけるICT機器の効果的な活用方法

一人一台端末を保健体育授業の中で、どのように活用しているのか。運動量を確保することができるような工夫、得意・不得意、好き・嫌いなど、様々な生徒がいる中で全ての生徒が主体的に授業に取り組むことができるような活用の仕方。（動画撮影、学習カードの電子化）

・ 主体的に学習に取り組む態度をどのように評価しているのか。

※先生方が日々の授業実践で難しさを感じていることや今後の授業実践に必要なと感じられていることなどについて情報交換できる場にできたらと思います。気軽にご参加くださるようお願いいたします。